

2011 さぎしまトライアスロン参戦記

宿院 雅広

○いざ佐木島へ

8月27日(土)の朝9時に南インターから高速に乗って、4時間弱で広島三原港に到着。
そこからフェリーで20分、1周10kmの瀬戸内海に浮かぶ「佐木島」はみかんの島です。
レース中にたくさんのアゲハチョウが目の前を横切るのどかな島です。
ここを舞台に400名を超えるトライアスリートが集まり、28日熱戦が繰り広げられました。
同じ日に珠洲の大会があるのですが、今回は、隣の職場の後輩と2人での参戦です。
3年前、ランで潰れたリベンジを果たせるか！
ではレポートです。



○レースまで

前日に島入りして、コースの下見をしました。
スイムは、狭い湾内を2周回るコースなので、バトルを避けるため大外からゆっくり行こう！
バイクコースは、大小3つの上りがあるため、4周することを考えると攻めすぎは禁物だ！
ランも同じコースのため、アップダウンに備えてバイクの4周目で足を残して45分を目標に！
と、夕食時に素敵な夕焼けを野郎二人で眺めながら、一応のシナリオを描きました。
そして、夜9時には布団に入って、耳栓にアイマスクで朝までぐっすり zzz
事務局斡旋の宿は、さながら合宿所状態でしたが、豪華な食事が2食付いて5,000円と超良心的。



○スイム

当日受付の当日説明会形式なので、一般的な大会よりも遅めの10時に競技開始。
スイムは、フローティングスタートのため、砂浜から沖へ向かうようにとのアナウンスがあり、のんびり泳いでいると、いきなりホーンが…。
「えっ、スタート??？」
あまりに突然のスタートだったため、かなり面喰いました。
狭いコースに400人以上がひしめきあい、久々に強烈なバトルに巻き込まれました。
「あー、やっぱりスイムはきつい！」
「3種目の中で何が一番しんどいって、やっぱりスイムやなあ」
と頭の中で独り言を言いながら、必死で泳ぎます。
何とか泳ぎ切り、砂浜に上がって時計を見ると、ゆうに30分は過ぎています。
しかし、気を取り直してバイクラックに駆け込みます。

○バイク

太陽の日差しを受けてキラキラ光る瀬戸内の海をバックに、心地よい風を切りながら、ひたすらペダルを回します。

大会のために道路が封鎖されているので、すれ違う車も無く快適に飛ばせます。

途中へその両横が痛くなって「これはなんなんだ？」と嫌な予感がしつつも、足には影響がないので、そのまま飛ばし続けます。

会場のメインストリートには観客席が設けてあり、ここを3回駆け抜けます。

ものすごい声援に、まるで自分がトップアスリートになったかのようです。

4周目は、前回の反省を踏まえて足に余力を残し、最終1時間17分(42km)でバイクフィニッシュ。



○ラン

今回は、ランに備えて足を温存していたので、いつもより冷静に、足取り軽くスタート。

ところが3キロ過ぎて急激に失速し、頭に描いていたシナリオがびりびりと破れていきます。

実力不足？調整不足？夏の疲れ？胃腸の疲れ？熱中症？と自己分析をしながら、最後は、日ごろの行いが悪いせい？遊びすぎの罰？…と自虐モードに突入し、思わず苦笑します。^^;

4キロを過ぎてからは、「次のエイドまでなんとか」「あのエイドまでなんとか」という、かつての名セリフを思い出すような調子で、歩きたいのをひたすら我慢します。

そして、ようやくたどり着くエイド毎にきっちり停車して、おばちゃんたちに話しかけます。

「これ、ホンマからだに悪いわー！おばちゃん、交代しよ！」と。

みんな、例外なく笑ってくれるので、会話が弾み、各駅停車を思う存分楽しめました。

エイドのおばちゃんやにちゃんやねえちゃん、私設エイドでスイカをふるまってくれたじいちゃん、庭で宴会をしながら声援を送ってくれたおっちゃん、そして大会関係者のみなさんに感謝です。

ありがとおございます～！

そう、これがいいんです！

これぞ、トライアスロン！

やっぱり、楽しまなきゃ！

「ほらファイトや！」と私の肩をたたいて抜かして行った年上のおっちゃんの格好良さに、最後の力を振り絞ります。

しかしまあ、いったい何人に抜かされたのか…

4日たってようやくリザルトが出ました。

総合タイムは、2時間45分48秒で51位/354人。

ランで潰れて30人ほど抜かされたことが判明しましたが、前回より8分近く短縮でき、順位もちよっと上がったので、上出来としましょう。



○最後に

さしま大会は、今年で22回目を迎えた歴史ある大会で、毎年中国・四国地方の強豪が集まります。それだけではなく、初心者も非常に多く、リレーを加えて参加者500名近くになる人気大会です。

小さい島ながらの手作り感一杯、かつアットホームな雰囲気、その秘訣なのでしょう。

加えて風光明媚ときたものですから、人気に押されて歴史を重ねていくのもうなずけます。

珠洲も魅力的ですが、こちらもなかなか素敵な大会なので、来年再びリベンジ狙おうかなあ。

最後に、一緒に行動してくれた19歳も若い遠藤君ありがとう！

おっさんはレース後に弁当食べられなかったけど、さすが若い、ペロッと平らげたね。

でもまだまだおっさんも頑張りませー。^^;